

令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録（要旨）

- 1 日 時 令和6年12月10日（火） 14:00～16:00
- 2 場 所 校長室
- 3 出席者 館山会長、野崎委員、藤本委員、谷口委員、高瀬委員、村田委員
檜崎校長、太田教頭、櫻間事務長、新田首席、花野首席
その他教員 2名
※10月より教頭が伊藤より太田に変更となった

4 次 第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 授業見学
- (4) 令和6年度学校経営計画および学校評価の進捗状況について
- (5) 閉会

※傍聴希望者なし

5 協議・意見交換

<会長あいさつ>

皆様、本日はお忙しい中お集まりくださりまして誠にありがとうございます。日頃より皆様方におかれましては、子供たちの成長を温かくお見守りくださりましてありがとうございます。また、校長先生をはじめ教職員の皆様方におかれましても、日頃のご指導にご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

<令和6年度学校経営計画および学校評価の進捗状況について>

【校長より主旨説明】

昨年度の末に 大阪府教育庁に提出した経営計画を各委員のみな様に第1回の際にご覧いただいた令和6年度の学校経営計画について、重点目標に対して進捗状況と自己評価を記載している。数値を上げることが目的ではないが設定している目標に達していない場合はその原因を探り、改善策を検討している。その中で3つの数値目標を重点項目として捉えている。1つ目は入学者選抜の出願者数である。大阪府中学校長会より第1回の進路希望調査が本日報道提供されるが、本校の志願者は昨年度より微増すると見込まれる。最終的な志願者が前年以上となるよう、学校説明会など機会を設けて周知を進めてきた結果であると考えている。2つ目は就労率について、去年は3月末時点で87パーセントであった。卒業後の就労者を含めると90パーセントが企業就労している。最後に定着率、どれだけ企業就職を果たしたとしても職場の人間関係や環境の変化に耐えられず離職するケースが一定数いるが、3年間の追指導を通じて離職しないようなフォローを行いつつ、離職後には関係機関と連携を取り、再就職へスムーズに進めるようにサポートしている。この3つの指標を日々の授業や各種行事などで大切にしているところである。8期生の現在の進路状況について、進路部長より詳細を説明する。

【進路部長】

3年生は46名在籍しており、就職希望者は42名である。そのうち、実習が計画されている者が4名おり、その他38名の生徒は、就職に向けて順調に進んでおり、採用面接等のステップを経て内定を受けることとなる。それ以外の生徒は、福祉サービス、また訓練校等への進学希望者はもう少し先の就職に向けて進むことになる。

【補足事項】

学校教育自己診断分析結果の考察で、生徒アンケートの項目にある「学校に行くのが楽しい」の数値が74.5パーセントで、令和5年度に比べると8ポイント低下しており、考察を進めているところである。特に3年生が顕著に表れている。真摯に反省するべきところは反省し、今後につなげるように対策を検討していく。

[質問] 特になし

[討議事項] 特になし

<校長：閉会の挨拶>